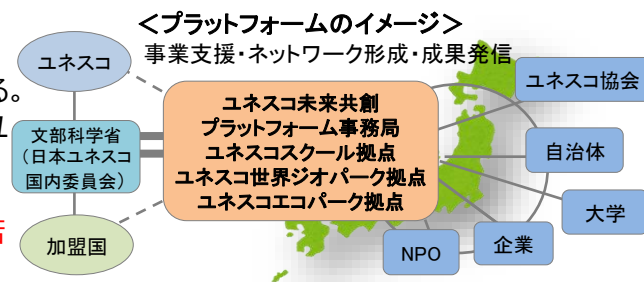


ユネスコ未来共創プラットフォーム ～世界と地域をつなぐユネスコ活動の推進～

令和5年度予算額 87百万円
 (前年度予算額 88百万円)

背景・課題

- 2019年10月にまとめられた「ユネスコ活動の活性化について（建議）」において、**SDGsの実現**に向けた取組を進める多様なステークホルダーとの連携を深める戦略的なプラットフォームの構築を通じて、**世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動を推進するとともに、地域の個性とユネスコ活動のメリットを生かした地方創生や多様な変化に対応できる人材の育成**を図ることが求められている。
- 2022～2029年ユネスコ中期戦略**において、「ユース」は「優先グループ」の一つに位置づけられ、ユネスコのあらゆるハイレベル会合において、**各国ユースの参画**が求められている。また、2021年に策定された**第2期ESD国内実施計画**においても、**ユースは持続可能な開発を実現する上で欠かせない存在**であるとされている。このため、**ユネスコ活動に自ら関わり、国際の場で発信をし、海外の若者と議論できる人材を育成することが急務**である。



事業内容 ● 事業実施期間：令和2年～令和6年（予定）

<p>①「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局の構築・運営</p> <p>他分野にわたるユネスコ活動の横のつながりと、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーの連携、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進することを目的としたプラットフォームを構築・運営する。</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ポータルサイトを通じた分野横断的なユネスコ活動の国内外への情報発信 ➢ ユース世代や民間企業を含む多様なステークホルダーとの対話を通じた連携の促進 ➢ <u>次世代ユネスコ国内委員会との連携によるユースフォーラムの開催及び成果の発信</u> ➢ SDGs実現に向けた全国及び地域、活動分野間ネットワークの構築 ➢ 海外展開を行う草の根のユネスコ活動の公募・審査・実施等 	<p>②ユネスコスクールネットワーク拠点の運営</p> <p>ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活動支援やネットワーク機能の強化等を行う。</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ユネスコスクールの加盟申請及び定期レビューに係る業務 ➢ 国内ユネスコスクールに関する情報収集及び発信 ➢ ユネスコスクールの活動支援（講習会、研修会の開催等） ➢ ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)の支援等 	<p>③ユネスコ世界ジオパーク拠点の運営</p> <p>日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務、再認定審査に係る業務、選考基準策定、ユネスコとの連絡調整等を行う。あわせて、<u>海外の専門家との交流による日本の取組への理解促進を図るとともに、国内登録地域の活性化を支援する。</u></p> <p>④ユネスコエコパーク拠点の運営</p> <p>日本国内のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営を推進することを目的とした実務者ワークショップを企画・開催する。また、<u>国際的なユースのネットワークが立ち上がる中、「ユースワークショップ」の実施により、国内各地域のユース世代の人材育成や連携強化を図り、将来的な国内のユースネットワークの構築や各地域の発展に貢献する実務者育成に寄与する。</u></p>
--	--	--